

# 青山小だより

平成30年度 NO.2

発行日 平成30年 5月1日

港区立青山小学校 校長 下城 英和

tel.03-3403-5588 fax.03-3403-5589

mail : aoyama-es@minato-tky.ed.jp

HP : <http://aoyama-es.minato-tky.ed.jp/>

## 我慢する心

副校長 高須賀俊秀

風薫る五月。さわやかな風が頬に心地よい過ごしやすい毎日が続いています。この春、校庭では梅、沈丁花、水仙、寒桜、ソメイヨシノ、タンポポ、チューリップ、ツツジ、ポピー、フリージア・・・とたくさんの花が咲きました。校外に出るとさらにたくさんの花たちがまさに百花繚乱。それぞれの春を表現していました。これから季節は新緑の初夏へと移ろいでいきます。四季のある日本。それぞれのよさを感じてほしいと思います。

さて、新学年が始まって1か月がたちました。青山小学校の子供たちは新しい学年での学習や生活に張り切って取り組み充実した毎日を過ごしています。自分の目標をしっかりとをもってそれに向けてコツコツと努力を続けている子がたくさんいます。反面、壁に当たってしまった時にあきらめてしまう、根気強く続けていくことが難しい子供が見られることもあります。これは原因の一つに「我慢する力」が育っていないことが考えられます。

我慢には「感情コントロールの我慢」「欲求コントロールの我慢」があります。人間ですから様々な感情がありますが抑えなければならぬ場面があります。自分が欲しいものがすぐに手に入るわけではありません。時期を待つ、別の物で代替することも必要でしょう。

そして、大切にしたいのが「目標達成のための我慢」です。学習、運動、芸術、趣味の世界でも目標の実現のためには努力が必要です。練習に楽しく取り組むことが理想ですがつらい場面もあることでしょう。そんな時に「つらいけどもう少し頑張ってみよう」と思うこと。努力をしても順調に成果が表れない踊り場状況の時、「もう少し我慢して続けてみよう」と思うこと。そういった「目標達成のための我慢」ができる子供は大きく伸びていくと思います。この点に関しては「マッシュマロ・テスト」という自制心と将来の社会形成の関連性を調査した研究があり、一定の客観的データも示されています。また、プロ野球のイチロー選手は「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」と言っています。子供たちには目標達成のために小さな努力・我慢を続けてほしいと思います。

ただし、してはいけない我慢があります。「人」として尊重されない場合です。暴力や非道な扱いを受ける、差別をされるような状況です。こんな場合は家族や学校の先生に相談して解決することが大切です。

我慢することは安心感が重要です。大変なことに挑戦するけどつらくなったら戻る場所がある、見守ってもらっている・励ましてもらっているという安心感があると子供は頑張ることができます。そして、その役割を果たすことができるのは家庭です。保護者の皆様の子供たちのへ言葉かけ、目配り・気配りが子供たちにとっては大きな力となります。

この春きれいに咲いた花々もただ春になったから咲いたわけではありません。冬の間、寒さに耐え、じっと根を張り、蕾を固く閉じ、栄養を蓄えて春の準備をしてきたからこそその開花です。子供たちにも色とりどりの花を咲かせてほしいと願っています。

### すてっぷあつぷ教室の通級及び学習支援員の配置の申込みについて

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行うすてっぷあつぷ教室を開室しております。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、すてっぷあつぷ教室への通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は**6月15日(金)までに**、担任、特別支援コーディネーター(白井・関根)、または副校長(高須賀)に御相談ください。

**※なお、2学期以降も継続してすてっぷあつぷ教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、6月15日(金)までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に必ず連絡をお願いいたします。**